

令和7年度  
運営に関する計画



大阪市立高倉小学校

令和7年4月

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校の学校教育目標が『『ともに幸せに生きる力』を育てる』に変更されてから3年目である。学校目標に到達するための手立てとして児童向けの目標として「みんなが幸せな笑顔になれる学校にしよう」を明示し教育活動をスタートした。児童が自らの人生を幸せに生きていくために、身のまわりのあらゆる人・物・事に感謝の心を持ち、周囲の人の幸せについて考え行動できるようにすることを軸に取組を進めていきたい。

本校の児童は全体的に落ち着いて学習活動に取り組んでおり、仲良く楽しく遊ぶ姿が見られる。しかし昨年は、発達に課題のある児童に対する理解が足りないことに起因するいじめ事案や上靴隠しなどの事案が起こり、人権教育の必要性、とりわけ相手の立場に立って考え行動できる心の育成が喫緊の課題となっている。もう一つの課題は、不登校児童の多さである。友だち関係、学習、先生の対応にも何も問題がないが何となく学校に行けないなどの理由のはっきりしない不登校、友だちが叱られているのを見てしんどくなるHSC型の不登校も増えており、一人一人の不登校児童に寄り添った支援計画を立て、PDCAサイクルを回しながら継続的な支援を徹底し「誰一人取り残さない」を具現化したい。

また、児童の「生命」の安全を保障することは引き続き徹底していく。「南海トラフ地震」や不審者事案などがいつ起こっても被害を出さないように日常的に意識を高めておきたい。先の東日本大震災で世界中から高く評価された日本の学校の避難訓練のあり方をさらに改善し、計画的に実施していくことと並行して防犯訓練や救急救命訓練を実施していく。

働き方改革については、文部科学省の方針に沿って時間短縮と業務削減を継続するが、今年度は教職員が安心して働ける、働きがいを感じる職場の雰囲気改善に重点を置きたい。教職員は、互いの個性や経験の多少を認め合い「協働する」ことでまず児童の安全を保障し、安心感を持たせる。やがて児童は教職員を信頼し、保護者は教職員に感謝の気持ちを持つ。この信頼関係をひたむきに構築していく過程における児童、保護者や教職員の様々なコミュニケーションそのものが本校の目指す「働きがい改革」である。学級経営も一人の担任で進める「学級王国型」ではなく、複数の教員が学習指導に関わるなど、それぞれの立場で全教職員が全児童を支援していく体制を整え、より丁寧に児童に寄り添えるようにしていきたい。保護者、地域住民にも学校教育を支えていただく、応援していただくために、学校からの情報発信の頻度を増やし、内容や方法にもさらに工夫を重ねていきたい。

学力・体力の向上に関しては、「対話」を手がかりに主体的な学びを引き出す授業を目指して研究を推進する。また、ICTの効果的かつ積極的な活用も進める。健康教育においては、体力向上だけでなく、児童の長い人生を考え、身体と命を大切にすることを育み、自分はもちろん他人のことも大切にしようとする意識と行動を身につけさせたい。そのために「性教育」などの健康教育の充実と「なわとび集会」「かけ足週間」などの実践を大事にした効果的な取組を進めていきたい。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。(R6年度78.3%)

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R6年度79.6%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査における平均標準化得点を102点以上にする。  
(R5平均99.8 R6平均100.5 )

○令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点を、男女とも全国平均以上で維持する。(R5年度男子52.92 全国平均52.59 女子54.07 全国平均54.28)  
(R6 本校男子56.19 全国52.53 本校女子55.93 全国53.92 )

### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の校内調査の「パソコンを使う学習で理解を深めることができた」の項目について肯定的に回答する児童の割合を95%にする。  
(R6年度は、92%)

○令和7年度の時間外勤務時間の月累計平均を校種別平均より少なくする。  
(R6年度、26時間12分、校種別平均25時間02分)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を89%以上にする。（R6年度78.3%）
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。（R6年度79.6%）

#### 学校の年度目標

- ・校内調査における「緊急時の避難の仕方がわかる」の肯定的回答率を年度当初より上げる。（5月・2月調査）

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を43%以上にする。（R6年度39.1%）
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。（R6年度71%）

#### 学校の年度目標

- ・校内調査における「健康的な生活を送るために気を付けていることがある」の肯定的回答率を年度当初より上げる。（5月・2月調査）

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕（R6年度平均活用率5.6%）
- ・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（1か月45時間以内、1年間360時間以内）を満たす教職員の割合を40%以上にする。（R6年度59.52%）

#### 学校の目標

- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。（R6年度73%）

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

## 大阪市立高倉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して最も肯定的な「そう思う」(「どちらかといえばそう思う」はカウントしない)と回答する児童の割合を<b>89%以上</b>にする。(R6年度<b>78.3%</b>)</li> <li>・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>89%以上</b>にする。(R6年度<b>79.6%</b>)</li> </ul> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「学校へ行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<b>89%以上</b>にする。(R6年度は<b>81.2%</b>)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめを起こさないための取り組みを継続して行い、いじめ事案が発生した場合は全教職員で情報共有し協力して対応することで、いじめを許さない環境を醸成する。</li> <li>●すべての教育活動の中で「仲間づくり」を大切にする。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども同士、子どもと大人の認め合う関係づくりを継続して進める。</li> <li>・ いじめ事案発生時には、全教職員の情報共有と迅速なチーム対応を進める。</li> </ul>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●どの人のことも認められる人権教育を進め、安全で安心できる学校をつくる。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権教育の年間指導計画を作成し、各学年の実態に応じた取組を実践する。</li> <li>・ みんなが「居心地のいい学校」を目指して主体的に取り組める活動を工夫する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【施策1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「防災」「減災」教育に取り組む。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・減災に関わる授業を各学年年間2回以上実施する。</li> <li>・ 防災マニュアル(警備及び防災の計画)の活用日を学期1回設け、緊急時の教職員個々の役割や全体の動きを確認する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立高倉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を43%以上にする。(R6年 39.1%)</li><li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を73%以上にする。(R6年 71%)</li></ul> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校内調査における「健康的な生活を送るために気を付けていることがある」の肯定的回答率を年度当初より上げる。(5月・2月調査)</li></ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容④【4 誰一人取り残さない学力の保障】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●学力向上に向けて授業力向上に取り組む。</li><li>・児童が主体的に学ぶ授業を進める。</li><li>・学級で話し合う活動を効果的に取り入れる。</li></ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業力向上に関わる研修会を工夫して実施する。</li><li>・児童が主体的に学ぶ力を高めることをめざす授業を、各教員年間1回以上公開する。</li></ul>	
<p>取組内容⑤【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●児童の体力・運動能力の向上に向けて、体育科学習の充実を図ったり、運動や遊びの環境を整えたりする。</li><li>・年間3回以上体育的行事を実施し、運動に親しむ機会を設ける。また、がんばりカード等を活用して振り返りを行い、運動に対して意欲が高まるようにする。</li></ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・校内調査「体育学習が好き」の肯定的回答率を上げる(5月・2月)</li></ul>	
<p>取組内容⑥【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●児童の発達段階に応じた健康に関する指導を推進し、日常より<u>基本的な生活習慣</u>について徹底するように取り組む。(健康に関する現代的課題への対応)</li></ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全な生活についての意識を高め、昨年度より外科での来室者数を減少させる。</li></ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## 大阪市立高倉小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕(R6年度平均活用率は5.6%)</li> <li>・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(1か月45時間以内、1年間360時間以内)を満たす教職員の割合を60%以上にする。(R6年度2月時点で57.14%)</li> </ul> <p>学校の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(R6:73%)</li> </ul>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑦【6 教育DX デジタルトランスフォーメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学習者用端末を積極的に活用する。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の天気」を毎日活用する。</li> <li>・2年生以上は学習者用端末を活用した学習を週1回以上おこなう。</li> <li>・学習者用端末を用いたオンライン学習を年間1回以上おこなう。</li> <li>・情報モラル教育実践を各学年で年間1回以上おこなう。</li> </ul>	
<p>取組内容⑧【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職員全員の「協働」を重視して、余裕を持って働ける職場環境改善を進める。</li> <li>・毎週木曜日に「早く帰るDAY」を設定し、その日は、遅くとも午後6時までには退勤する。</li> <li>・毎月の自分の勤務時間を把握する。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務時間基準2(1年間の時間外勤務時間が720時間を超えない)を満たす教員の割合を増加させる。(R6年度 95.2%)</li> </ul>	
<p>取組内容⑨【8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●読書への関心が高まる環境を整える。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の読書環境をよりよく改善し、読書への関心を高められるよう、朝の読書タイムや図書開放、読み聞かせなどの取り組みを行う。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	